

FDL 2012

NPO FUKUOKA
DESIGN
LEAGUE
ACTIVIES REPORT

特定非営利活動法人
FUKUOKA デザインリーグ
2012 活動報告

MMXII

FUKUOKA DESIGN LEAGUE



NPO FUKUOKA デザインリーグとは ―

FUKUOKAデザインリーグは福岡市のデザインセンター構想をベースに、1996年に任意団体として発足しました。その後福岡市経済産業局内に事務局をおき、「デザインによる経済振興」を主な目的としてさまざまな活動が続けてきましたが、「デザインを経済のためだけではなく、社会の成熟のために活用する」という大きな使命のもと、2008年に特定非営利活動法人として再スタートしました。世界はいま環境問題やエネルギー問題など、さまざまな課題を抱えています。デザインはいまこそその力を企業や経済のためだけではなく、社会のため、市民のために活用しなければなりません。FUKUOKAデザインリーグでは、一人のデザイナーでは対応できない社会の大きな課題に対して、あらゆるデザイン領域を統合したトータルな力で、「市民が豊かに暮らせる社会(デザイン都市)」の実現を目指します。



C O N T E N T S

2012 年度 / 平成 24 年度

自主事業

PUBLIC PROJECT パブリックプロジェクト

01 ユニバーサルキャンプ in九州	03
02 デザインカフェ	04
03 福岡景観ガイドツアー（福岡市都市景観室 共働事業）	05
04 ユニバーサル都市・福岡フェスティバル FDL ブース出展	06
05 マチオモイ帖九州会場	06

EDUCATION PROJECT 教育プロジェクト

06 デザインスクールキャラバン	07
07 デザインインターンシップ	07
08 福岡48時間デザインチャレンジ（ユニバーサル都市・福岡フェスティバル支援事業）	08

EXCHANGE PROJECT 交流プロジェクト

09 大望年会	09
10 ボルドー&バルセロナ経済交流訪問	10

受託事業

SUPPORT PROJECT サポートプロジェクト

11 福岡市デザイン啓発・広報事業	11
12 福岡デザイン展「FUKUOKA DESIGN EXHIBITION」in 釜山	12
13 平成24年度 福岡市都市景観賞運営その他業務	12
14 第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議・2012in 福岡 福岡市ブース制作	13
15 イメージアップアドバイザー事業	14
16 ユニバーサル都市・福岡モビリティマップ作成業務	14
17 伝統工芸モデル事業「ふくおか匠塾」	15
18 パリ・ジャパンエキスポ 福岡市バナー・パネル制作事業	15
19 警固公園仮囲いデザイン制作	16
20 釜山デザインセンター（DCB）海外事業説明会	16

1泊2日で見つける、たくさんの出会いと気づき。

01 ユニバーサルキャンプin九州

日時：10月13日～14日

会場：海の中道海浜公園キャンプ場

2008年より開催しているユニバーサルキャンプin九州。

老若男女、障がいの有無、国籍や文化の違いにかかわらず、「みんなが一緒にいきいきと暮らせる社会」の実現を目指す交流イベントです。

今回で5回目となるこのキャンプは、期間中ずっと晴天に恵まれ、ものづくりやスポーツ、さらに食事の準備など、多くのイベントをみんなでつくり上げることができました。キャンプで出会う多様な人々と語り、寝食を共にすることで、誰もがそれぞれに出来ること、出来ないことがあることに気づき、自然とお互いの特性を理解できる良い機会となりました。

■ 担当者感想

今回のキャンプでは、ダイバーシティのイベントとして参加者全員で「キックベースボール」を行いました。チーム戦での真剣勝負だったため、全員お互いの特性を考慮しながら新しい方法を考え出して、独自のコミュニケーションが成立し、驚きでした。今後は、ますますたくさんの気づきを共有しながら「誰もが楽しめるキャンプ」となるように頑張りたいと思います。 ●〔山田真史〕



「コーヒーと好奇心」

02 デザインカフェ

日時: 6月29日、2月1日 会場: 九州大学大橋サテライト (ルネット) 1F
講師: 6月29日: 藤田理恵子、藤木美恵子、加瀬仁人、定村俊満、佐藤俊郎 氏
2月1日: 斧山晃一 氏

2012年度最初のデザインカフェは、5月に福岡市とバルセロナ市の経済交流・可能性調査ミッションに参加し、バルセロナ市のデザインセンターを視察してきたデザインリーグのメンバー、加瀬、藤田、藤木氏からバルセロナ市の現状、デザインセンターの戦略について報告をして頂きました。また同行した定村氏から、今回のバルセロナ市とこれまで視察してきた、ロンドン、オスロ、コペンハーゲン、釜山等の世界のデザインセンターの事例を紹介して頂きました。2回目は、インダストリーデザイナーの斧山晃一氏をお招きし、「デザインとマネジメント」のテーマでお話をして頂きました。

■ 担当者感想

2011年度は5回開催しましたが、12年度は2回にとどまりました。反省しています。13年度はより興味深い内容で4回程度開催の予定です。

●[照井善明]



福岡のまちの魅力を再発見

03

福岡景観ガイドツアー

日時: 5月19日(土)・20日(日)、6月9日(土)・10日(日)、10月20日(土)・21日(日)

会場: 大名・今泉(5月) 博多アートコース(6月) 冷泉・御供所(10月)

講師: FDL会員

大名・今泉(5月)

江戸時代の地形をお堀を中心に復元するコースで街並みを歩き、そこに残る歴史の痕跡を案内しました。

博多アートコース(6月)

新博多駅からキャナルシティ、川端商店街を経てリバレインから明治通りに多数あるパブリックアートを案内しました。

冷泉・御供所(10月)

福岡で開催されたユニバーサルデザイン会議に合わせて、障がいのある方々を対象に歴史が古い神社、仏閣古い街並みで行ないました。

■ 担当者感想

それぞれに全く異なる性格のツアーを三つ行い、それぞれに大きな反響をいただきました。まだまだ、福岡のまちには埋もれている魅力があることを再認識しました。 ●[水野宏]



広げよう「ユニバーサル都市・福岡」！

04

ユニバーサル都市・福岡フェスティバル会場 FDLブース出展

日時：10月12日～14日
会場：福岡国際センター

福岡市の『ユニバーサル都市・福岡』の考え方や目標像を、より広く市民に理解してもらうために、「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012in福岡」に合わせて、福岡国際センターで「ユニバーサル都市・福岡フェスティバル」が開催され、FDLもブースを出展しました。会場の1階では主に福岡県、福岡市のブースや企業展示がおこなわれ、最先端のユニバーサルデザイン関連の商品が紹介されました。2階は市内の教育機関、NPOなどの活動を紹介するスペースで、ここにFDLも出展しました。ブースはFDL活動の中からユニバーサルデザインに関係の深い事業を紹介しました。



ブース設計・施工：児島正明
バナーデザイン：計盛政利



■ 担当者感想

会場の中では、FDLブースが目を引き、国際会議参加で来日した外国人の方々も多く訪れていただきました。 ● [岡真由子]

日本中がマチオモイの春

05

my home town わたしのマチオモイ帖・九州展

日時：3月4日～3月24日

会場：ゲンキケイカク365（福岡市中央区天神2-2-43 ソラリアプラザ6F）

講師：スピーカー：堂野智史（メビック扇町 所長） 清水 紘行（aozora 代表）

ファシリテーター：江副直樹（九州ちくご元気計画 総合プロデューサー）

プレゼンター：たなかみのる／宇佐川圭吾／内野美和／西村明洋／武永茂久／村上智一

クリエイターが自分の故郷や暮らしている町、縁がある町の魅力を冊子や映像で紹介する展覧会です。瀬戸内の小さな島から生まれた1冊のマチオモイ帖は、共感した全国のクリエイター約340組が参加する展覧会となり、東京・大阪で開催され大きな反響を呼びました。今回は新作も含め約700点のマチオモイ帖を全国13カ所で開催、九州7県のマチオモイ帖50点が福岡で展示されました。（来場者約1,000人）会期中にトークイベントも開催され、定員を超える盛り上がりとなりました。展覧会全般とあわせて、地域地方の魅力をいかに見だし、それをどう伝えていくかを考察するうえで実り大きい事業になりました。



■ 担当者感想

評価が高いプログラムでしたが、現実にマチオモイ帖展の熱気に触れることがなかった地域にとって、今回の運営はかなり厳しく、九州でも同様でした。参加クリエイターの呼びかけや会場設定等にかんがりの苦戦を強いられましたが、結果的に成功したのは、企画自体の魅力と関わる人の思いの強さによるものだと思います。まさにオモイの強さが、「魅力」の深さに表れる！を体感いたしました。

● [武永茂久]

ユニバーサル都市・福岡みんながやさしい、 みんなにやさしいまちをつくろう

06 小学校出前授業「スクールキャラバン2012」

日時：9月21日 展示：9月22日～10月15日

会場：実施校：福岡市立南当仁小学校 展示：福岡市役所15階

講師：JAGDA福岡地区、JIA九州支部福岡会、SDA九州地区、JCD九州支部、DSA九州支部等団体会員40名

今年のテーマ「ユニバーサルデザイン」に沿って、南当仁小学校5年生103名で夢のまちをつくりました。福岡市中心地天神を舞台に、4つのチームに分かれ、授業開始9時から15時の模型完成まで、息つく間もなく頑張りました。

交通チームは自動車と歩行者を分離させた道路計画や、市役所と駅をつなぐペDESTリアンデッキ、小川が流れる空中公園などをデザイン。建築チームは開かれた市役所と、街で楽しく暮らせる住宅などを設計。店舗チームは子どもから高齢者まで、みんなが集うレストランパークや、既存商業施設をデザイン。公園チームは街に潤いを与える緑化計画や、みんなで楽しめる都市型公園など、壮大な都市計画がデザインされました。

でこぼこの道の方が楽しいよ、いや、車椅子では通りにくいな…、この点字ブロックを隣のチームにつなげてもらわなくては…など、子どもたちはチームメイトや隣のチームと話し合い、力を合わせます。

各チームの模型がひとつひとつ完成し、合体させると5m×8mの巨大なジオラマが完成しました。みんなのやさしさが散りばめられた「みんながやさしい、みんなにやさしいまち」ができました。完成模型

は、今年福岡市で開催されたユニバーサル国際会議を記念して約1ヶ月間展示され、多くの方にご覧頂きました。



■ 担当者感想

授業終了後に子どもたちにアンケートをしました。「見た目でウキウキして、使いやすさで安心できる」、「自然って大切」、「デザインがあれば気持ちがワクワクする」などの感想が寄せられました。また、多くの子どもたちが、「みんなでつくと楽しい」、「大変だったけど達成感があつた」、「みんなで協力すると短時間ですごいものができる」といった、共同作業を通して優しさや思いやりの共有、協力することの大切さなどを、デザインを体感しながら学びました。

近い将来、子どもたちが願った「本当にこんなまちになったらいいな」を彼ら自身が実現してくれると思います。 ●[中牟田麻弥]

現場に飛び込もう!学生たちの夏の挑戦

07 デザインインターンシップ2012

日時：インターンシップ期間：8月～9月

2003年度より、デザイナーを志す大学・専門学校の学生を対象に、デザインの現場を体験するための「デザインインターンシップ」を行っています。

参加企業：14社

参加学生数：20名

■ 担当者感想

実習レポートより一部抜粋（受入先／在校名）

●私はインターンシップに参加するまでは、デザイナーはパソコンなどを使い、ほとんど机上での作業ばかりする人だと思っていました。しかし今回体験してみて、自らデザインする場所に足を運んだり、打ち合わせや現場に行ったりなど、本当はものすごくアクティブだということを実感しました。書ききれないぐらい多くのことを学べて、とても充実した5日間でした。

（ファーストデザイン／九州大学3年生）

●学校の課題とは違って緊張感がありましたが、図面や模型製作をやることができ、その中でたくさんを学べてとても為になりました。

（田島正陽建築事務所／九州産業大学3年生）

●学校やアルバイトでは体感したことのない、人の親しさや強いつながり、個人の強さと真剣さを感じる事ができました。どんな知識や技術よりも大切だと学びました。やりたいことについてバラバラだったことが何となく共通点が見えたり、方向性を感じました。

（ツカサ創研／福岡教育大学3年生）

●プレゼンの難しさ、やり方、大切さを学ぶことができました。何のデザインをしたいのか、いまいち分からなかったのですが、広告デザインにとっても興味を持ちました。

（アボロ計画／近畿大学3年生）

●[岡真由子]

まじっすか? やばいっす! 勉強になるっす! 的ワークショップだったぜ!

08

ユニバーサル都市福岡・福岡フェスティバル支援事業 「福岡48時間デザインチャレンジ」

日時: 10月5、6、7日

会場: 九州大学大橋サテライト

講師: ジュリア・カセム

今年度の市の事業で注目されるのは「ユニバーサル都市・福岡」の立ち上げではないでしょうか。福岡UD都市宣言元年として市の支援事業として実施したワークショップです。イギリスからお招きしたファシリテーター、ジュリア・カセム女史は障害者とデザイナーが組めば、素晴らしい社会提案が産まれるという考えの持ち主です。FDLの一步先を歩いている女史に、福岡を代表する4人のデザイナー（WSリーダー）は「まじ、やばい、勉強になるっす」状態でした。共通テーマは博多駅のユニバーサルデザイン! 4チームに別れてチーム内の障害者、外国人、市民、デザイナーと協働してソリューションを発見する、刺激的な48時間でした。

■ 担当者感想

今回のワークショップ運営は「博多街づくり推進協議会」とのコラボレーションでした。FDLとエリアマネジメント組織が福岡のまちづくりに対して提案をするというのは「有り」だと実感したワークショップでした。このワークショップは・・・このまま終わらせない・・・To Be Continue ですね。[Be] ●[廣瀬正人]



第15FUKUOKAデザイン界合同大望年会 2012

09

日時：12月10日（月）
会場：コマンタレブー
主催：デザイン都市をつくる会
共催：NPO法人FUKUOKAデザインリーグ

毎年12月に、デザイン業界合同の忘年会を開催しています。「望む年の会」として多くのデザイン関係の方々をお誘いし、デザイン業界の発展を目指して行こうという主旨で開催しています。今年は那珂川沿いの「コマンタレブー」で開催しました。毎年少しずつ趣向を変えながら、15回目の今年は韓国のデザイナーの方々もお誘いし、国際色豊かな望年会となったのではないかと思います。総参加人数は80名で、今年も多くの方々と交流が出来たのではないかと思います。今回も多く企業より協賛の品々を頂き心より感謝申し上げます。

■ 担当者感想

多くの企業や運営スタッフのお陰で、今年も無事に開催出来た事に深く感謝いたします。今後は、準備期間をしっかりと取って企画を充実していけたらと思います。 ●【児島正明】



高島福岡市長とボルドー、バルセロナを公式訪問

10 ボルドー、バルセロナ経済交流訪問

日時：5月10日～5月16日

会場：ボルドー／フランス、バルセロナ／スペイン

福岡市・ボルドー市の姉妹都市締結30周年記念訪問団の一員として、記念行事と行政視察に参加しました。またデザイン産業が活発なバルセロナ市を訪問し、デザインを基軸とする福岡市・バルセロナ市の経済交流のスタートアップとなりました。バルセロナでは現地のデザイン系NPOバルセロナ装飾アート振興協会／FAD(FomontedelasArtesDecorativas)、およびバルセロナデザインセンター／BCD(BarcelonacentredeDiseny)との相後プレゼンテーションと、継続的な交流についての討議をおこないました。FADからは新素材プロジェクトの共同事業実施や、国際展示会への参加提案があり、今後の展開が期待されます。

■ 担当者感想

車いすで参加した加瀬氏を含め4人のFDL訪問チームでしたが、高島市長や同行の森福岡市議会議員ともお話をすることが多く、今後のデザイン産業やバリアフリー施策についての活発な意見交換ができました。またバルセロナのNPOバルセロナ装飾アート振興協会／FAD(FomontedelasArtesDecorativas)はFDLとの共通点も多く、今後の交流が楽しみです。 ●[定村俊満]



●参加者

加瀬仁人／株式会社ゼネラルアサヒ
(現在TOTO(株)に在籍)

定村俊満／株式会社ジーエータップ

藤木美恵子／MFデザインオフィス

藤田理恵子／藤田理恵子企画室

デザイン力で地域を元気に！

11

福岡市デザイン啓発・広報事業「元気！になる地域とデザインのあり方をさぐるシンポジウム」

日時：10月9日（火）17:30（開場）18:00（開始）～20:30（終了）
会場：福岡アジア美術館あじびホール

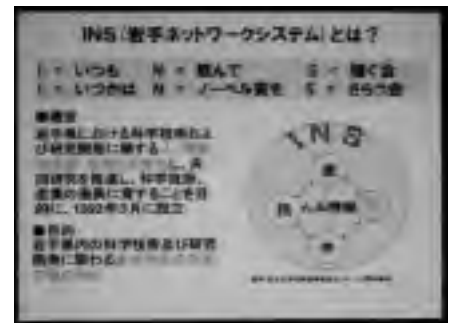
中央主導ではない、地域ならではの取り組みにこそ、明日へのヒントがあります。経営戦略におけるデザインの必要性を前に活動を行っているデザイン団体を招いてシンポジウムを開催しました。

〔参加団体〕●札幌デザインウィーク実行委員会●（社）富山県デザイン協会●（公財）大阪市都市型産業振興センタークリエイティブネットワークセンター大阪メビック扇町●（公財）広島市産業振興センター／広島市産業デザインネットワーク研究会●福岡県産業デザイン協議会●NPO・FUKUOKAデザインリーグ

〔確認事項〕・地域が持っている課題は共通である。・それを解決するにはデザインという視点が不可欠。・ただし、地域ごとのデザインのありかたがある。・地域内においての異分野コミュニティ（例・・・大阪メビック扇町）づくりはたいへん重要。・地域を越えての情報交換や必要に応じてのタイアップなど、今後も継続すべき。

■ 担当者感想

それぞれのやり方から見えてきた共通項の数々、日本各地で進められているデザイン活動の情報交換、議論は、多くのヒントにあふれており、デザインによる地域活性化とそれに基づく地場産業の発展方法を探るのにたいへん有意義なシンポジウムになったと思います。交流会参加者の多さと、各テーブルの熱い議論がそれを如実に物語っていたのではないのでしょうか。今後、持ち回りによる定期開催が望まれるところです。 ●〔武永茂久〕



講師：基調講演講師

- 原田昭 氏（札幌市立大学名誉教授）
- 堂野智史 氏（メビック扇町所長）

パネラー（参加団体およびパネリスト）

- 札幌デザインウィーク実行委員会（山岸正美・札幌デザインウィーク実行委員長）
- 社団法人富山県デザイン協会（武山良三・運営委員会統括委員会委員／富山大学芸術文化学部教授）
- 公益財団法人大阪市都市型産業振興センター クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町（堂野智史・メビック扇町所長）
- （公財）広島市産業振興センター／広島市産業デザインネットワーク研究会（納島正弘・副会長）
- 福岡県産業デザイン協議会（神田橋幸治・事務局）
- NPO・FUKUOKAデザインリーグ（定村俊満・副理事長）

福岡のデザイナー、韓国進出か？

12

福岡デザイン展「FUKUOKA DESIGN EXHIBITION」IN釜山

日時：7月28日～8月2日
会場：釜山デザインセンターギャラリー

釜山デザインセンターギャラリーの入口正面にFDLのロゴマークを掲げ、初の本格的なFDLの海外展示会でした。会場は釜山デザインセンターの中で、FDLメンバーの15社が展示出品しました。その他に福岡のベストデザインを集めた「デザイン100」の展示なども行いました。

展示会とあわせて、FDLのメンバーが、プレゼンテーションを行い、翌日はデザインワークショップを実施しました。福岡・釜山の両都市のデザイナーが釜山市内の視察を行い、様々なデザイン的視点からの問題点を抽出する作業でした。さらに29日はFDLの主要メンバーが釜山のデザイナーと問題を共有し、両者で取り組むデザインテーマを導く作業を行いました。



ブース設計・施工：児島正明
バナーデザイン：計盛政利

■ 担当者感想

児島さん、計盛さんの施行で展示会が実現しました。海外での展示会は、なかなか現地の様子がわからず、現場でのアドリブ対応が要求されるものですが、低予算、短期間の準備ですばらしいものができました。ワークショップの成果は、すぐに形になるものではありませんが、着実な一歩として評価できるのではないかと思います。 ●[佐藤俊郎]

今年から変化した景観賞

13

福岡市都市景観賞運営受託

日時：6月～3月

昨年25周年記念事業を無事終えた福岡市都市景観賞です。時代が変化中、応募数の減少への対応や、市民に向けて開かれた景観賞になるため、今年は新たな取り組みをおこないました。建築・ランドスケープ・屋外広告・活動の4部門と、部門ごとの景観賞の中から大賞を選定。さらに募集も隔年（ビエンナーレ）としました。FDLは景観賞の募集と審査会・表彰式の運営に加えて、景観情報誌「彩都」の企画・取材・編集・印刷、まちなみ写真コンテスト、夏休み子どもまちなみ写真教室、まちコン作品展、記念シンポジウムの企画運営など盛りだくさんの受託活動でした。今年初めて行った子ども写真教室では子どもたちがプロ用カメラを器用に使いこなしていたのが印象的でした。

■ 担当者感想

FDL受託事業の中では最大の事業規模の都市景観賞運営です。たくさんのFDL会員の力を結集し、景観行政に役立つアイデアの企画から実施まで、まさにFDLの総合力を活かして行っています。今年で3年目の事業ですが、各実施担当会員のモチベーションの高さに毎回頭が下がります。

●[廣瀬正人]



ユニバーサルデザインの基本を考える

14

第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in福岡 福岡市ブース制作

日時：10月12日（金）～14日（日）

会場：福岡国際センター

プロジェクトメンバー：金子洋伸・森重正治・児島正明

第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012in福岡では国際会議、公開シンポジウム、展示会、公開ワークショップ、子どもUDワークショップ、48時間デザインワークショップ、IAUDアワード、論文発表セッションなどのイベントが行われました。展示会での福岡市のブースは「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向けた福岡市の取り組みを、来場者の方々に理解していただくのが目的でした。

ユニバーサルデザインの基本を考慮したプラン、文字の位置やフォント、大きさ。そして、色に注意し、さらに車椅子動線の確保と音声ガイダンスも加えてまとめ上げました。今回の展示では、ユニバーサルデザインの基本は守れたのではないかと思います。

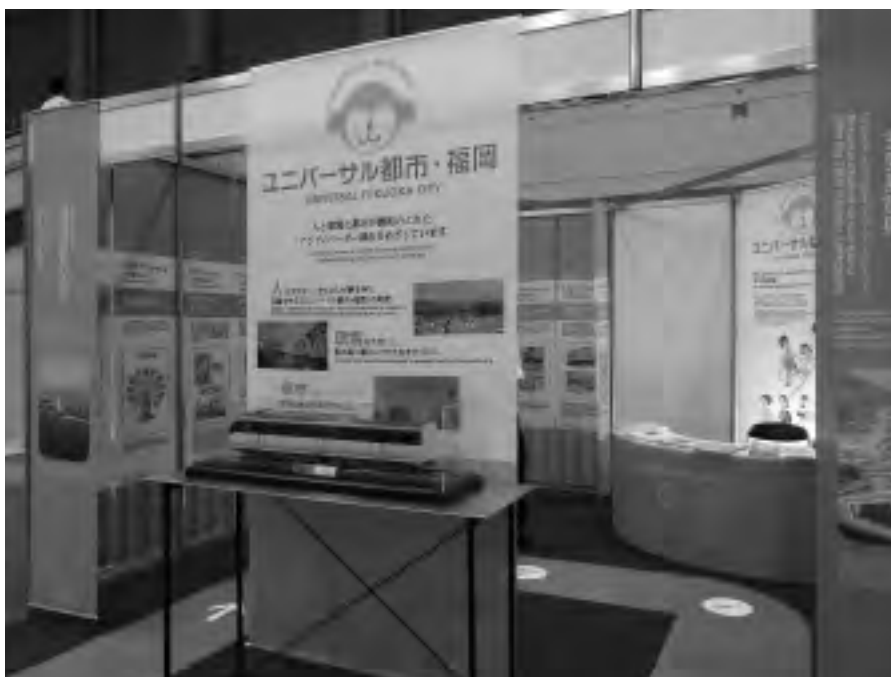


■ 担当者感想

7月18日に福岡市役所でプロジェクトがスタートし、10月の展示会開催まで約3カ月。当初の予想をはるかに超える作業となりました。開催日前日の設営は時間との戦いで、当日のセレモニーが始まるギリギリまで作業は続きました。当日高島市長からねぎらいの声をかけていただき、また後日にはお礼状をいただきました。

プロジェクトの皆様お疲れ様でした。

●[金子洋伸]



全国でも注目の公共工事現場のデザイン

15 イメージアップアドバイザー事業

日時：4月～3月

会場：冷泉公園、雑餉隈周辺

福岡市道路下水道局建設部が発注する土木工事ではその工事総額の1%をイメージアップ事業に使う事が指導されています。この事業で、デザイナーの視点から、対費用効果にすぐれたイメージアップ事業を行うためにFDLの5名のメンバーがアドバイザーとして、問題点を把握し、評価し、ガイドラインを作成する事業を行いました。さらにガイドラインの具体的な実施事例として、冷泉公園現場周辺の修景を主体とした整備、および雑餉隈の現場仮設囲い壁のグラフィックなどを実施しました。

今後は、個々の現場対応と同時に、公共事業全体を統轄するイメージ戦略と、全体のガイドラインの作成が急務だと思われます。

■ 担当者感想

極めて意義深い事業です。巨額の公費を使って行われる土木事業の中身や意義が、市民にうまく伝わっていない現状をデザインの力で打破し、よりよい都市景観を生み出す当事業は全国からも注目される事業です。現状では、事業別にはばらばらのネーミングがあり、全体としての事業の統一などが計られていません。

FDLとして継続して取り組むべき重要な事業です。

●[佐藤俊郎]



●イメージアップアドバイザー

荒田 寛（株式会社環境デザイン機構）

武智徳子（福岡インテリアコーディネーター協会）

深町俊彦（日本商環境デザイン協会九州支部）

中牟田麻弥（日本サインデザイン協会九州地区）

山田貴史（日本サインデザイン協会九州地区）

ユニバーサル都市・福岡の実現に向けて

16 ユニバーサル都市・福岡モビリティマップ作成

日時：9月～10月

会場：ユニバーサル都市・福岡フェスティバル会場にて配布

ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの開催に合わせて、毎年更新しているモビリティマップをリニューアルしました。対象エリアは今までも作成していた天神、博多に加えてフェスティバル開催会場の国際会議場周辺のウォーターフロントエリアを加えました。

■ 担当者感想

モビリティマップの調査を通して、福岡のまちの問題点が浮かびあがってきます。継続的に調査をすることにより、ユニバーサル都市・福岡の実現に向かいたいと思います。 ●[水野宏]



実験店舗「くらしごと」

17 福岡県伝統産業振興事業「ふくおか匠塾」

日時：7月～3月

福岡県では県内伝統産業の経営者やクラフトマンの人材育成を目的に、今年度から「ふくおか匠塾」を開催しています。塾は自社のネットショップ構築と、自社商品の市場評価のための実験店舗が二本の柱で、FDLは実験店舗を担当しました。塾生は上野焼き、博多織り、博多人形、八女仏壇、八女提灯、大川組子、大川箆笥の各産地から約20名が参加しました。店舗は何の店なのか？を考えるWSから店舗のネーミング、店舗デザイン決定まで、九州産業大学デザイン学科の学生に手伝ってもらいながら進めました。アクロス福岡、イオンモール筑紫野店、九州イオン福岡店の3箇所では2月末から3月初めまで、約1ヶ月の開催で、塾生は各企業作品・工房作品に対して沢山の気づきを発見したようです。

■ 担当者感想

伝統産業の振興には産業としての支援と文化としての支援があります。ふくおか匠塾は産業としての支援事業ですが、目標は新商品の開発です。初年度での気づきから、産地を越えたコラボレーション商品の企画の動きが始動し始めれば幸いです。 ●[廣瀬正人]



18 第13回ジャパンエキスポ

日時：7月5日（木）～7月8日（日）

会場：パリ ノール・ヴィルバント展示会場

フランスのパリで開催されるジャパンエキスポの福岡市ブースのデザインと展示物の制作です。3MX3Mの1コマの展示スペースに福岡市の文化や観光を中心に紹介しました。3日間の開催期間で507枚のアンケート回収が出来、多くの方々に福岡市をPR出来ました。

■ 担当者感想

企画期間が短かったので現地での手配ができず、福岡で制作した展示物を持ち込んで、現地で簡単にディスプレイできるように計画する事に苦渋しました。最終的にはバナーサインを採用することで、ビジュアル的にも空間的にもまとまった展示が出来たと思います。 ●[児島正明]



街の中に現れた大きなりんご

19

天神 警固公園改修工事に伴う 仮囲いグラフィック作成「CHANGING APPLE」

日時：7月～9月
会場：警固公園

福岡市中央区天神の警固公園改修にあたり、工事中の仮囲いフェンスのグラフィックを制作しました。

11月下旬の竣工までの期間に、文化を反映し、天神を象徴し、活気をもたらし、グラフィックが期待され、FDLでデザイナーチームを構成し、ディスカッションしながら、最終案を江副哲哉氏と吉浦菜夏氏が担当しました。

短期間の壁画だからこそできるデザインにしようと計画し親しみやすいりんごをテーマにシンプルに、明るく、ストーリー性を持った、写真撮影のスポットにもなるデザインになりました。

チーム：江副哲哉&吉浦菜夏、計盛政利、森重正治



■ 担当者感想

人通りの多い目立つ場所に、長期間白いパネルがそのままになっていたため、人の目を楽ませる演出を企画しました。景観に配慮して色数を抑え、形もシンプルに。工事現場の中で起きている公園の「変化」に期待がふくらむよう、仮囲いでも「変化」をテーマにしたストーリーを展開しました。各面ごとにりんごのストーリーは様々なため、それぞれのストーリーを楽しんで新しい発見ができるように工夫しました。 ●[吉浦菜夏, 岡真由子]

熱い日韓デザインビジネスの現場

20

釜山デザインセンター (DCB) 海外事業説明会

日時：12月10日(水)
会場：ホテルニューオータニ博多

韓国、釜山のデザイナーと福岡の企業とのマッチング事業がおこなわれました。2011年のMOU締結時はデザイナー企業同士の交流でしたが、今回は、韓国のデザインに関心がある福岡の企業に参加していただき相互のマッチングを行い、具体的な事業の伸展をはかりました。

当日は、多くの地元企業も参加して活発な交流と具体的な話がおこなわれました。

■ 担当者感想

釜山のデザイナー達は実に熱心で、強い意気込みを感じます。説明会后、初の日韓合同忘年会が行われ、夜遅くまでデザイン議論に花が咲きました。もはや釜山との交流は海外交流ではなく、お隣の近所交流に変わったと、つくづく感じます。後は、いかにして具体的なデザイン成果を出して行くか、継続とともに、結果も求められます。

●[佐藤俊郎]



会員名簿

■ 団体正会員 (公社)＝公益社団法人、(一社)＝一般社団法人

(公社) 日本建築家協会九州支部福岡会 (JIA)
(公社) 日本グラフィックデザイナー協会福岡地区 (JAGDA)
(公社) 日本サインデザイン協会九州地区 (SDA)
(一社) 日本商環境デザイン協会九州支部 (JCD)
(一社) 日本空間デザイン協会九州支部 (DSA)
九州アートディレクターズクラブ (K-ADC)
福岡県産業デザイン協議会
麻生建築&デザイン専門学校
九州デザイナー学院
日本デザイナー学院
福岡デザイン専門学校
株式会社ゼネラルアサヒ
株式会社ジーエークレアス
株式会社環境デザイン機構
株式会社大建

■ 個人正会員 (50音順)

愛智 大輔	遠 江 晃
阿武 寿志	戸塚 眞理
岩田 憲明	長尾 朋貴
内田 正宏	長峰 栄子
鬼塚 淳子	野口 恵庸
川崎 泰秀	萩原 武治
岸本 泰洋	橋爪 大輔
北村 里美	橋本 恵子
木下 浩市	廣瀬 正人
金 戊 丁	堀田 千寿
坂口 正臣	松尾 紘出子
塩井 一孝	松山 真介
嶋本 和夫	松山 ちあき
正田 美加	馬渡 秀公
田中 那美	水口 敬司
築地原 芳紀	棕本 敏行
照井 善明	吉田 寛史

■ 団体賛助会員

株式会社正興電機製作所
博多装工株式会社
福岡県民共済生活協同組合
株式会社ステッカートレーダージャパン
社会福祉法人未来駅 愛
福岡インテリアコーディネーター協会 (FICA)
(公社) 日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA)

■ 個人賛助会員

田中 亮二
菊池 美佳

■ 役員名簿

理 事 長 渡辺 顕好
副理事長 定村 俊満
副理事長 佐藤 俊郎
専務理事 廣瀬 正人
理 事 棕本 敏行
理 事 森重 正治
理 事 金子 洋伸
理 事 大庭 香代子
理 事 長峰 栄子
理 事 水 野 宏
理 事 兒島 正明
理 事 中牟田 麻弥
理 事 板野 仁志
理 事 熊 野 学
理 事 吉永 文治
理 事 伊場 芳朗
理 事 大久保 映介
監 事 川崎 泰秀
監 事 嶋本 和夫

■ 2013年3月31日現在

NPO FUKUOKA デザインリーグ2012 を終えて ——

2012年度は国内外のネットワークが大きく育った年でした。7月には釜山デザインセンターで「FUKUOKA DESIGN EXHIBITION」とワークショップを実施、12月には釜山のデザイナーが来福し、日本企業とのマッチングをおこないました。国内では、10月に札幌、富山、大阪、広島、福岡で活動する地域のデザイン組織を招き、シンポジウムを開催しました。

今後も同じ志をもつ内外の仲間との連携が進むことでしょう。また、継続的に実施しているデザインスクールキャラバンやユニバーサルキャンプ等の自主事業、さらに下水道工事現場のイメージアップ事業等の受託事業は、ともに大きな社会性を持った活動です。

生産人口が徐々に減少する中、細やかで実効性のある地域経営は行政単独では難しくなっています。このような時代にこそ、FDLの役割はさらに大きくなってきたと感じます。

FDLは今後も Quality of Life の実現をめざし、さらに力強い活動を進めます。

2013 年
FUKUOKA デザインリーグ

副理事長
定村俊満

2013年8月発行
NPO FUKUOKA デザインリーグ
福岡市南区大橋1-3-27
九州大学大橋サテライト内
事務局 岡真由子
TEL 092-551-0825
FAX 092-405-8025
E-mail fdljinu@f-design.gr.jp
URL <http://www.f-design.gr.jp>

MXII

FUKUOKA DESIGN LEAGUE

